



かのやっ子わくわく アドベンチャー in種子島

主催 鹿屋市子ども会育成連絡協議会
7月25日～28日 種子島
○ロケット基地見学
○南種子町・西之表市子ども連交流活動
○海の活動など

細山田小学校6年 平野 晃大

ぼくは種子島に行き色々なことを学びました。それは、協力・助け合い・団体行動です。

種子島では、また会って間もない人たちと協力して、カレーやバーベキューなどを作りました。

友達もいっぱいできました。

なかでも、ぼくが、一番うれしかったことが、誰とでも合ったり、しゃべったりしたこと。ぼくは、前から人見知りでした。だけど、このかのやっ子わくわくアドベンチャーを通じて誰とでもふれ合うことができました。

また、こんな体験があれば、ぜひ行きたいです。



みんなで鹿屋市を紹介しました



西之表市の子どもたちとの交流

鹿屋ふるさと 体験隊2013 in輝北

主催 まちづくり輝北
8月23日～25日 輝北うわば公園
○民泊体験
○ペットボトルロケット打ち上げ
○星空観望会など

西原小学校5年 児島 健太

ぼくは、今回行われたキャンプで、初めて輝北のうわば公園に行きました。

周囲には、たくさんのお店があり、すすくととても過ごしやすい体験ができました。

ぼくの周囲には、農業をしている人がいません。今回泊めてもらった家で、にわとりにえさをやったり、産みだしたの卵を取ったり、野菜をしゅうかくしたり、店に出荷する野菜のふくろづめをしたりと、ふだんなかなかできない体験ができ、とてもよかったです。

今度は、家族で天球館に行きたいと思います。



ペットボトルロケットの打ち上げに挑戦



自分のご飯は、自分たちで準備しました

interview

かのやっ子わくわく アドベンチャーin種子島 主催者

鹿屋市子ども会

育成連絡協議会

会長 福岡雄一さん



鹿屋市子ども会育成連絡協議会では、種子島の西之表市と南種子町で、7月25日～28日の3泊4日間、宿泊体験を開催し、鹿屋市内の小学5・6年生40人が参加しました。

種子島では、種子島宇宙センターや鉄砲館の見学、シュノーケルやシーカヤックといったマリンスポーツ、西之表市と南種子町の子どものための交流活動を行いました。

我々がこの活動を行う目的はリーダー育成にあります。それは、最近の子どもの生活は様々な生活体験や多様な人とのふれあいを持つ機会が少なくなってきたこと、子どもたちが地域で主体的に活動するための経験を積んで、地域を若い力で盛り上げて欲しいと願っているからです。

期間中には、ボランティアで参加していただいた鹿屋っ子クラブや鹿屋市青年団といった年長者による指導や交流のきっかけもあって、子ども

たち自らが声をかけ合い、集合時の整列や身の回りの整理など、食事の準備・片付け等を行うなど、一人ひとりがリーダーとして自覚を持った行動ができるようになりました。

また、コミュニケーション不足が指摘される現代の子どもたちですが、初めて出会った仲間たちとも目を追うごとに会話を重ね、種子島の子どもたちとも交流を深めることができました。改めて人と人との対話やつながりの大切さを感じることができたのではないのでしょうか。

我々は、今回の経験を踏まえ、異なる年齢層や他校の子どもたちとの交流を今後ますます大切にしていきたいと考えています。

また、子どもたちの成長を促し、子どもたちが子どもたち自身で計画・運営ができるような子ども会を目指して、青少年の育成活動を推進していきたいと思っています。

体験活動のススメ

夏休み期間中に子どもたちを対象に様々な体験活動が行われました。

今回、鹿屋ふるさと体験隊2013 in輝北を初開催したまちづくり輝北の竹井さんは「将来子どもたちには、鹿屋の本当の魅力を話せるようになって欲しい。郷土を愛する心を育てたい」との思いから、地元の関係者とハンドメイドの体験活動に挑戦しました。このように、各団体では「伝統」「歴史」「文化」「農業」「食の大切さ」「人の温かさ」「思いやりの心」など、子どもたちに多くのことを伝えようと活動しています。そして、感想文にもあるように、子どもたちもすっかりと大人の思いを受け取り、多くのことを学んでいます。

今後このような体験活動の話があった際には、まずは子どもへの興味を促し、一歩踏み出す後押しをしてみたいかがでしょう。子どもたちにとって、きっと、新しい自分を発見でき、生涯にわたる宝ものとなる体験が待っていることでしょう。

